

令和元年度福祉部会研修会

～東広島市安芸津町“お茶の間カフェほぼろ島”視察研修

昨年の12月16日、令和元年度の福祉部会の視察研修会を実施しました。今回は、福祉部会員19名で、東広島市安芸津町の木谷地域センターで行われている“お茶の間サロンほぼろ島”を訪問しました。同サロンは百歳体操を導入しており、大野第一区の柿の浦集会所で進めている“百歳体操のサロン化”（百歳体操と、参加者がお互いに交流し仲間づくりができるサロン活動との融合）の参考とするため、その活動状況を視察研修しました。

当日は、最初にサロンの世話人の方々から、活動状況の説明を受けました。サロンの現在の活動メニューは、①いきいき百歳体操、②レクリエーション（歌、ゲーム、クラフト等）③おしゃべりティータイム（コーヒー、お菓子）で構成されており、参加者は自由に好きな活動メニューを選択でき、気楽にサロンへ参加できるようにしているとのことでした。

その後、実際の活動状況を見学させていただきました。いきいき百歳体操には、30人以上の方が参加されていました。参加者の中の指導員のリードのもと、皆さん楽しそうに体を動かしておられました。又参加者はいくつかの部屋に分かれ、それぞれ思い思いに、マーじゃん、トランプ、ペーパークラフト等を楽しんでおられました。

今回の視察研修では、福祉部会の課題である”百歳体操のサロン化”のための多くのヒントを得ることができました。参加者がサロンの活動メニューを思い思いに選択し、気楽に参加できる運営面の工夫や、マンネリ化を防ぎ、参加意欲を高める月一回の行事の計画、参加者同士がおしゃべりを楽しみ、交流を深めるティータイムの設定等、大変参考となりました。特に参考になったのは、世話人の方々の明るさとサロン活動に対する熱意でした。課題である“百歳体操のサロン化”の成功のためには、まず我々世話人が参加者とともに楽しみ、活性化することが非常に重要だと気づかされました。

今後、今回の研修で学んだことを参考に、世話人の皆さんと柿の浦の“百歳体操のサロン化”を進めていきたいと考えています。

最後になりますが、今回の研修に当たっては、木谷自治協議会の吉田会長はじめサロンの世話人（代表吉田直代さん）の皆さんに、真摯かつ丁寧に対応して頂きました。又研修会の計画、東広島市社協との調整等については、大野社協の井上副所長、吉川さんに大変お世話になりました。紙面を借りて御礼申し上げます。

大野第一区福祉部会長

前田龍雄